

日本共産党中山支部と後援会が 下総中山駅の改良でJR支社に要請

8月19日、日本共産党中山支部と後援会が、JR千葉支社を訪ねて下総中山駅南口のバリアフリー化を要請しました。今年1月に行った現地調査を受けた



要請書を渡す参加者と丸山慎一前県議(左)、松崎佐智市議(その左)。
8月19日・JR千葉支社内

ものです。

下総中山駅は、南口から駅に入るときに6段の階段を上らなければ入れません。そのため車いすやベビーカーなどの利用者は遠回りして北口の利用を余儀なくされています。周辺住民の高齢化が進み、多くの市民から「南口から直接駅に入れるようにしてほしい」と、エレベーター設置などのバリアフリー化を望む声が上がっています。

参加者は「都心に近いことから若い世代も増えている。車いすやベビーカーなどが安全で便利に利用できる駅にしてほしい」と求めました。また、「市も協議の姿勢を示している。市の補助金を利用して整備を進められないか」と促す声も出されました。

JRの担当者は「すでに駅の北口は段差がなく、2ルート目のための経費負担は原則やっていない」としましたが、「船橋市の負担があれば協力する」と回答しました。

安倍元首相の国葬中止へスタンディング

8月29日、安倍元首相の国葬に反対するスタンディングが呼びかけられ、夕方の船橋駅南口に20人ほどが集まりました。



呼びかけに応じて国葬中止のスタンディングをおこなう市民有志。
8月29日・船橋駅南口

1967年に吉田茂元首相の国葬が行われましたが、大きな反対の声が広がり、それ以来、一度も実施されていません。今回も「国民に弔意を強制することに」

「法律も制度もないのに、単なる閣議決定で強行しようとしている」「安倍元首相の政治内容は評価が大きく分かれているのに、国民主権のあり方に反する」など、様々な批判の声が上がりました。マスコミの世論調査でも過半数が反対の意志を示しています。

スタンディングは、こうした思いを伝え、声を上げて行こうと取り組まれたものです。立ち止まる人や拍手をしてくれる人、参加者にかけてよって「国葬は絶対反対。がんばって」とグータッチを求めている人もいました。シール投票もわずか1時間で140人ほどがシールを貼り、「こういうのをやってほしい」「意思表示したかったので、ありがたう」と話してくれる人もいました。

年金者組合と船橋労連が 終戦記念日リレートークを開催



8月15日、船橋駅北口で「終戦記念日リレートーク」が行われました。全日本年金者組合船橋支部と船橋地区労働組合連合会の共催です。

30人ほどが参加して、ビラを配布

終戦記念日リレートークで訴える参加者と丸山慎一前県議(左)。
8月15日・船橋駅北口

したり憲法をまもり生かす署名に組み込まれる者がマイクを握って訴えました。

「憲法9条のもとで日本は一度も戦争に参加してこなかった。これは9条が力を持っている証拠だ」「軍事対軍事で進んでいけばどんどんエスカレートしていく。話し合いによる平和的な解決を目指すべきだ」「幕張メッセで来年3月、また武器見本市が開かれるよう開催を止めさせよう」「政府は軍事費を2倍にしようとしているが、暮らしや経済を壊すことになる」「医師として、人の命を奪う戦争に一貫して反対し続けてきた。命が何よりも大切」「教員は終戦の日子どもたちを戦争に送ってきたことを後悔して、再び、戦場に送らないことを決意した」などなど力強い発言が続きました。

利用者アンケートの結果を踏まえて 東葉高速鉄道本社に運賃値下げを要請

8月4日、日本共産党が沿線住民とともに東葉高速鉄道本社に対して、運賃値下げや利便性の向上を求めて要請を行いました。

東葉高速鉄道は市民の足として、通勤、通学、買物、行楽などで欠かせない路線ですが、運賃は全国でトップを争うほど高額で、大幅な引き下げは利用者の長年の願いとなっています。

日本共産党はこれまでも東葉高速本社に利用者からの署名を提出して値下げを求めるなど、住民とともに要望を届けてきました。今年4月から6月には、東葉線利用者にアンケートを呼びかけ、400通近くの回答が寄せられました。

運賃では、数件を除いて圧倒的多数が「高いと思う」と答えています。なかには「高い」という回答欄のわきに「非常に」とか「超々」「とても」などと書き添えてある回答もあり、利用者の実感が表れています。「いくらくらいが妥当か」との問いには、「半分程度」が約5割、「3割減」が3割、「7割減」が1割という結果でした。

この日の要請ではこうした利用者の切実な声を紹介して、運賃の大幅な値下げを求めました。



運賃値下げを要請する沿線住民と(正面手前左から)金沢和子市議員、光穂恵地区常任、丸山慎一前県議。
8月4日・東葉高速鉄道本社内